

修道学園(中・高)
同窓会会報誌

第 **89** 号

令和5年9月1日発行



学校法人 修道学園
修道中学校 修道高等学校

01 会報誌の発行にあたって

会長 深山 英樹 (高12回)

02 支部活動報告

- | | |
|-----------|--------------|
| 03 関東支部 | 新保 英樹 (高31回) |
| 03 近畿支部 | 河本 浩二 (高45回) |
| 04 九修会 | 石本 俊亮 (高27回) |
| 05 東部修道会 | 三島 敦宏 (高45回) |
| 06 江能修友会 | 胡子 雅信 (高41回) |
| 07 修道医会 | 松本 正俊 (高42回) |
| 広島修道歯科医会 | 毛利 雅哉 (高31回) |
| 08 広島市修道会 | 長田 開 (高67回) |

同窓生だより

- | | |
|------------------------------|--------------|
| 09 修道十日会 卒業六十五周年同期会 | 池本 章 (高10回) |
| 書を学ぶ | 黒田 省司 (高15回) |
| 10 修道が男女共学に？ | 加藤 和行 (高16回) |
| 中学入学から65年目のクラス会 | 菱川 方則 (高16回) |
| 11 修橙会 (修道高22回卒) 卒業50周年記念同期会 | |
| | 島村 誠 (高22回) |
| 12 修道学園 6年間の思い出 | 上野 勝司 (高25回) |
| 14 質実剛健とアウトドア | 村瀬 功 (高51回) |
| 15 かけがえのない仲間 | 古島 永一 (高65回) |
| 16 異常も、日々続くと、正常になる。 | |

コンテくん (本校OB)

17 修道学園同窓会連合会・修道学園(中・高)同窓会
事業報告並びに収支決算、収支予算

20 修道学園(中・高)同窓会 新役員

21 トピックス

Yショップ shüDO店オープン・新敬道館完成
修道学園創設300周年記念事業ホームページのご紹介

22 同窓会ニュース

新本館建設 (ご寄附のお願い)

23 事務局だより

修
道
SHUDO

..... 第 89 号同窓会会報誌の発行にあたって



同窓生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の同窓会会報誌第89号の発行にあたりましては、各方面より多大なるご協力を賜り無事発行の運びとなりました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。この会報誌が同窓会と同窓生の、また、同窓生同士の情報交換・情報発信の一助となれば幸いです。

さて、新型コロナウイルス感染症も5類感染症へ移行し、コロナ禍以前の生活に戻りつつあるように感じます。また、学校運営につきまして、現役生はもとより、教鞭を執られる先生方は、時代の変化に適応する力を育む教育をはじめ、創意工夫されておられると伺っております。

母校は、1725（享保10）年の広島藩「講学所」創始以来、300年も目前にせまる298年に及ぶ歴史と伝統がございます。『修道学園創設300周年事業 修道中学校・修道高等学校本館建替等工事 ご支援のお願い』について、同窓生の皆様からの寄附額は1億8千万円を超え、総額では2億円を超えたと聞き及んでおります。同窓生をはじめとした皆様の、母校への熱い思いを感じられる、多大なるご理解とご協力は、この上ない慶びであり、厚く御礼申し上げます。

創設300周年に向け、我々修道学園（中・高）同窓会が母校を助け、更なる発展に寄与すべく、活動を充実していかねばと決意を新たにいたしております。会員の皆様には、変わらぬご支援を賜りますよう、宜しく願いいたします。

修道学園（中・高）同窓会 会長 深山 英樹（高12回）

2023年

関東支部のつどい開催報告

関東支部

新保 英樹 (高31回)

2023年7月10日(月)に東京ドームホテルにて、2023年「関東支部のつどい」を開催いたしました。

本年の「関東支部のつどい」は、回帰、そして一步を掲げ、コロナ禍以前への回帰の一步にしたい、との想いのもと開催いたしました。来賓として、林正夫修道学園理事長、深山英樹同窓会長、住田敏修道学園専務理事、田原俊典校長、有馬昌宏近畿支部会長をお迎えし、170名ほどの参加者とともに、高21回、高31回の「1」の回を担当幹事として盛大に開催いたしました。

第一部の講演会は午後6時から、昨年引き続き大重麻衣さん(元広島ホームテレビアナウンサー)の司会でスタートし、日本医科大学大学院医学研究所循環器内科分野教授の清水渉さん(高31回)による、「不整脈ってどんな病気」と題した講演が行われました。清水さんは「不整脈」に関する権威ともいえる存在で、日本不整脈心電図学会理事長他、多くの学会の役員を兼務し、不整脈関連の国内外での多くの受賞歴、複数の医学雑誌の編集長、NHK「きょうの健康」他多くのTV



清水渉さん(高31回)による講演会

出演等、目覚ましい活躍をしております。当日は「不整脈」に関して、多くのスライド等を駆使し、非常に分かり易く解説していただきました。当講演に関しては「非常に分かり易かった」等、多数の高評価の声を頂戴いたしました。

第二部の総会・懇親会は午後7時より開始し、関東支部の新保英樹 実行委員長(高31回)の開会宣言、稲田英一郎 幹事長(高49回)の会計報告、弘中惇一郎 会長(高16回)の開会挨拶、その後、来賓のご紹介、林正夫修道学園理事長、深山英樹同窓会長からのご

挨拶を頂き、田原俊典校長の乾杯により懇親会がスタートしました。

本年の懇親会では、大上芳樹さん(高31回)によるミニコンサートが行われました。大上さんはカリスマ予備校講師でありながらプロのミュージシャンでもあり、約20分間、持ち歌を披露していただきました。大上さんの曲は有線では16曲(2023年3月時点)が人気ランキングで第1位となる活躍をしております、当日もギター一本で大いに盛り上げてくださいました。

その後昨年同様、4月に開催された関東支部春季ゴルフ大会の表彰式が行われ、個人戦(優勝・重田雅史さん(高30回)、ベストグロス賞(木村彰宏さん(高32回))、団体戦(優勝・高32回)の表彰が行われました。最後には、これも昨年同様同窓生にゆかりのある品々を景

品とした大抽選会が開催され、特に今年は覆面作家のコンテくん作の『男子校の生態』が景品として用意され、抽選会は大いに盛り上がりました。



大上芳樹さん(高31回)によるミニコンサート

その後、閉会に移り、次年度の実行委員への引継ぎ（新保英樹さん（高31回）↓加藤俊明さん他（高32回）、校歌斉唱、最後に、稲田英一郎幹事長（高49回）の閉会宣言により、午後9時に閉会となりました。

本年の開催に際しまして、修道学園、同窓会本部、近畿支部はじめ、関係者の方々に多大なご支援・ご協力を賜りましたことを改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

2022年総会・集いの報告

近畿支部

河本 浩二（高45回）

令和4年12月4日（日曜日）、グランヴィア大阪にて令和4年度総会・集いを開催しました。

令和2年、3年と新型コロナウイルス感染症の影響でWEBによる開催でしたが、3年ぶりに実際に集まっただけの開催となりました。

人数を制限しての開催、飲食中の席の移動の禁止、パーティションを設置しての食事と感染対策を行い、58名の同窓会員と3名のご来賓が参加して無事開催することができました。

まず宮本芳明様（高40回）から「最近のJ R西日本の取組について」という演題でご講

演をしてもらいました。J Rという身近でよく知っている会社について、安全対策や経営戦略など普段なかなか聞く機会のない貴重な情報を教えてもらいました。

その後、全体の集合写真を撮影して総会へと移りました。

総会ではまず令和4年に鬼籍に入った会員へ黙とうを行った後、有馬昌宏会長（高24回）の開会の挨拶をしました。引き続き谷村典俊さん（高30回）の会計報告及び林治令さん（高19回）の監査報告を全会で了承しました。

次に修道中学校教頭の藏下一成様、同窓会会長の深山英樹様（高12回）、関東支部会長の弘中惇一郎様（高16回）からご来賓の挨拶をいただきました。

そして参加者の中で最年少の高70回の西本有佑さん、塚本大智さん、土橋昌平さんが3人で乾杯の挨拶をして食事を開始しました。食事中に参加者が1人1分で挨拶をしました。1分の解釈のずれで参加者の半分程度で時間がきてしまいました。それぞれの熱い思いを聞くことができました。

食事の後にはお楽しみ抽選会を開きました。ピーコック魔法瓶からおしゃれに持ち運べるステンレスボトル、ポルタボトル（木村剛治さん（高36回）が格安で提供）や関東支部会長の弘中惇一郎様（高16回）のサイン入り著作、ハウス食品からアルコールを飲むときの強い味方、ウコンの力（谷村典俊さん（高



総会での集合写真

30回）提供）が今回の景品で、大いに盛り上がりしました。

コロナ前は皆で輪になって肩を組みながら校歌斉唱をしていましたが、感染防止のため距離を保ちながらそれぞれの席で世良朋孝さん（高35回）のリードで行いました。校歌斉

唱のあとは太田英之さん（高31回）のメールでしめました。

最後に都築英明さん（高24回）の閉会の辞を行い、沖唖さん（高7回）、煙山光伸さん（高7回）、高森成之さん（高8回）による万歳三唱で集いを終了しました。

新型コロナウイルスの感染対策を行った中ででの開催でしたが久しぶりに実際に集まることができ、大変楽しい時間を過ごすことができました。来年度も無事開催できるよう願っています。

2023年度

新入生歓迎のミニ交流会の報告

近畿支部

河本 浩二（高45回）

令和5年5月21日（日曜日）、お初天神本陣にて新入生歓迎のミニ交流会を開催しました。

当日は現役大学生20人、大学院生3人、社会人9人で世代を超えた交流を深めました。

広島から近畿に来たばかりの新入生からすっかり近畿に根を下ろした社会人まで参加しました。大学生は就職の参考になる話からそれほど役に立たない（？）話まで普段交流する機会のない社会人から有益な情報が得ら

れたでしょう。社会人はフレッシュな学生と修道学園の話や通学に使った電車の話をするとう気分はすっかり学生時代に帰ることができました。

新型コロナウイルスの影響でしばらく休止していましたが、近畿支部はリアルでの交流を再開しました。今後もいろいろ企画していきますのでご都合の合う方は是非ご参加ください。



ミニ交流会での集合写真

2023年6月

二つの出会い

九修会

石本 俊亮（高27回）

大阪の孫娘のお食い初めに参加するにあたり、たまたま旅行雑誌で見た高野山への旅を企画しました。今年は高野山開創1200年、弘法大師生誕1250年ということで、5月14日から7月9日まで、金剛峰寺のご本尊御開帳など、特別な催しが行われていました。そのため、旅行雑誌に掲載されている宿坊は、予約が取れず、やむなく宿坊協会にお願いして予約を行いました。宿坊協会から紹介された所は、無量光院というお寺でした。無量光院の縁起をHPでみると、忠臣蔵で有名な大石内蔵助が、赤穂藩浅野内匠頭の墓石を無量光院の墓所に建立し回向を務め、その後持ち入りを果たしたことや、浅野長勲侯が同じく無量光院の墓所に、安芸浅野家墓所を建立されるなど、浅野家と縁が深いことがわかりました。早朝に行われる、お勤めは、1時間半という長い時間の中で行われ、代々甲われている方々の氏名なども読み上げられ、浅野家の名前も聞くことができました。偶然の縁ではありましたが、奥の院の参道にある、浅野内匠頭赤穂四十七士供養塔と安芸浅野家供養塔へのお参りをさせていただきました。

また、6月25日の日曜日には、高27回卒の同窓会が、観音のディングーヤードで開催されました。梅雨本番を迎え、雨が続いていましたが、当日は梅雨の中休みで、潮風の心地よい夕暮れに、久しぶりの再会を楽しみむことができました。

以上が、この6月の出会い二つです。なお、九修会では、10月21日に九州地区に進学した修道生の歓迎を合わせた総会を行うことになっています。コロナで、なかなか会えなかった仲間との再会を楽しみにしています。



無量光院 安芸 浅野家墓所

第31回東部修道会総会

東部修道会

三島 敦宏（高45回）

東部修道会は、広島県東部地区や岡山県の在住者および出身者を会員として、平成元年

より活動しています。

去る令和4年11月5日、福山ニューキャッスルホテルにおいて3年振りとなる東部修道会総会を開催しました。この総会には田原校長先生はじめ、政財界や様々な業界で活躍する卒業生だけでなく、現役修道生の保護者会（修道33地区）のご父兄にもご出席いただきました。

そして今回の講演は「瑞冠、熟成酒への挑戦」という演題で、山岡酒造株式会社代表取締役社長 山岡克己先輩（高24回）にお願いしました。

山岡酒造さんといえば、「瑞冠」というお酒を三次市甲奴町で醸造されておられる、県内有数の蔵元です。今回は特別に、20年物の大吟醸酒、10年物の山廃仕込みなどの色々なお酒のきき酒をさせていただきました。

醸造の方法や合わせるおつまみによってもお酒の味わいが変わり、非常に興味深いきき酒を経験することができました。

さて本年は、令和5年10月14日、福山ニューキャッスルホテル（広島県福山市三之丸町8-16）にて総会を開催します。



山岡酒造株式会社代表取締役社長
山岡克己先輩（高24回）による講演

今年の講演は、ヨーロッパでも活躍されている若きヴァイオリニスト小島燎さん（高63回）にお願いしています。

年齢の垣根を越え、また業種を越えた会員同士の交流があるのも、東部修道会の良さです。私のように転勤で広島県東部にお住まいの卒業生、しばらく総会にご出席いただけない方でも、お気軽に総会にご参加くださいませ。



総会での集合写真

第29回江能修友会総会

令和5年6月24日（土）於 修道学園

グランドプリンスホテル広島 22階

ステーキ&シーフードボストン

江能修友会

胡子 雅信（高41回）

平成7年7月7日に発足した江田島市（江田島・能美島）出身および関係者を会員とする江能修友会も29年目に入ります。新型コロナウイルスにより令和2年から活動停止していましたが、5月8日に2類から5類に移行したことを受けて4年ぶりに総会・懇親会を開催しました。

平成時代の後半から総会・懇親会ともに江田島市内で開催していましたが、今回は学園のご厚意により、学校見学をしたあとと現在利用している教室で総会をすることができました。

田原俊典校長が案内してくださいました現在建設中の新敬道館には弓道、剣道、柔道、屋外のバスケットボールコートのほか、剣道場・少林寺拳法練習スペース・スカッシュコート・クライミングウォール（ボルダリング）、スカッシュコートなどがあり、中学校・高等学校におけるスカッシュコートの設置は日本初ということでした。（新敬道館は7月に供用開始）

その後、教室に移動して総会を開催し、新会長に山下江先輩（高23回）が就任し、新たな役員体制がスタートしました。

懇親会は送迎バスによりG7広島の主会場であったグランドプリンスホテル広島に移動し、22階にあるステーキ&シーフードボストンで開催しました。同窓会からは伊藤學人副会長、学校からは田原俊典校長に来賓としてご臨席いただきました。

目の前に広がる広島湾に浮かぶ安芸の小富士（似島）と江田島を見ながら40代から91歳までの幅広い世代が楽しく語りました。また、急遽お願いして、若い江田島市職員さんから江田島市の近況について話してもらい、故郷を離れて暮らす会員のみなさんには、懐かしくもあり、目まぐるしく変化する島の近況を知ることができました。

楽しいひと時もあっという間に過ぎ、最後は恒例の肩組みながらの校歌を大合唱して来年会う日を約束して散会しました。



総会での集合写真

修道医会令和4年度

(第66回) 総会 報告

修道医会

松本 正俊 (高42回)

修道医会は修道学園を卒業し、主として広島県内で医師として活躍している方々の集まりであり、会員数は現在991名です。昭和31年7月1日に発足して以降、毎年1回の総会、ゴルフ大会、家族会(野球観戦)等を催しています。平成20年から学生部会をつくり(現在会員数67名)、広島大学医学部の在学生のみならず、他大学医学部の在学生にもよびかけて部会としての活動を行っています。

今年度の総会は、令和4年7月30日(土)、コロナウイルス感染防止の観点により2年連続のオンライン開催となりました。午後4時30分からの総会において、令和3年度の事業報告や決算報告に加えて、令和4年度の事業計画や予算案が担当幹事より提示され、いずれも原案通り承認されました。第23回学術奨励賞は石川洸先生(高59回)・広島大学大学院医系科学研究科分子病理学が、「The clinicopathological significance of Annexin A10in Gastrointestinal Cancers (消化器癌におけるAnnexin A10の臨床病理学的重要性)」の論文業績で受賞されました。第21回社会功労賞は桑原正雄先生(高17回)が広島県にお

けるCOVID-19感染症対策の中心的役割を果たされていることについての功績で受賞、第12回文化功労賞は江部康二先生(高20回)が多数の著作やメディア出演により永年にわたって糖質制限食の普及に尽くされたことについて受賞されました。

次いで午後5時からの特別講演(i)では広島大学病院リウマチ・膠原病科教授の平田信太郎先生(高43回)より、「リウマチ・膠原病学の進歩と課題」と題したご講演を拝聴し、特別講演(ii)では、広島大学トランスレーショナルリサーチセンターインテグリン・マトリックス治療医学講座創発教授の横崎恭之先生(高26回)より、「自作の抗体を医薬にするために何が必要か」と題したご講演を拝聴しました。

午後6時50分からは総会第2部を開きました。宮本勝也会長(高30回)のご挨拶に引き続き、ご来賓の田原俊典校長から学園の現状を伺いました。さらに前述の3つの賞の表彰と受賞者の謝辞がありました。ご就任ご挨拶では、令和3年4月より院長就任の眞田修先生(高31回)よりお預かりしたご挨拶を担当幹事が代読させていただきました。学生部会より、学生部会部会長にご挨拶をして頂きました。最後は事務局長松本(高42回)の閉会の辞で盛会裏に会を終えました。

今年もこの会により修道健児の心意気を示すとともに、今後の各分野での個々の活躍と

修道同窓生としての連携を確認した次第です。

第59回広島修道歯科医会総会

広島修道歯科医会

毛利 雅哉 (高31回)

令和4年11月19日(土)午後6時より「広島県歯科医師会館」において、第59回広島修道歯科医会総会が開催された。本年度は新型コロナウイルス蔓延防止の観点から懇親会を行わず規模を縮小しての開催となった。

総会は久保康治専務理事(高37回)の司会進行で行われ、物故者への黙禱に続いて、今年度から新たに会長に就任された川原正照会長(高27回)より出席した会員への挨拶があった。続いて、庶務、会計、監査より報告があり、協議に移った。議題として修道歯科医会60周年を迎えるにあたり、どのような準備をしていくかということが話し合われた。

引き続き、久しぶりの講演会が開催された。里田隆博広島国際大学教授(高30回)に「摂食嚥下のしくみを理解するための手作り教材の製作」という演題で講演していただいた。里田教授は長年解剖学教育に携わっており、学生の理解の助けになるように沢山の模型を作ってこられている。今回は摂食嚥下のしくみを理解するための多くの模型を持参さ

広島市修道会 活動報告

広島市修道会

長田 開 (高67回)

れての講演となった。どの模型も非常に精巧に作られており、里田先生の教育にかける情熱がひしひしと伝わってくるものであった。講演終了後も、皆が模型の周りに集まって興味津々の様子で、その模型を手に取り動かしてみても摂食嚥下のしくみを理解していた。

午後7時30分、毛利雅哉副会長(高31回)の閉会の辞をもって日程を終了した。



総会での集合写真

私の人生は修道との関わりで連続です。修道生の兄の影響で修道に憧れ、入試を突破して入学し、中高6年間修道での生活を謳歌しました。大学の卒業論文では、畠眞實元校長先生(高7回)に御指導いただき、「明治中後期における私立中学校の教育的役割」というテーマで、「修道開祖の恩人」である山田十竹先生が学校の存続に奔走していた時期の修道を事例に執筆しました。広島市役所に就職後も、同じ部署に修道生の同期がいたり、上司が修道生であったりと、修道との不思議な縁を感じています。このような私の中で、広島市修道会は、新たな修道との関わり場となっています。今回は広島市修道会の活動について、紙面をお借りして紹介します。

広島市修道会は、広島市役所の職員のうち、修道中学・高等学校、修道大学の卒業生約320名で構成しており、同様に卒業生の市議会議員の先生方にも顧問として入会していただいています。

例年は、総会及び懇親会(これには御来賓として修道中学・高等学校と修道大学から、それぞれ校長と学長の御臨席を賜っております。)

のほか、役員会や幹事会、忘年会(又は新年会)等、年4回程度、会員が顔を合わせ、在学中の思い出を語り合う機会を設けており、市役所の中でも歴史の長い同窓会として活動を続けています。

令和4年度においては、長引くコロナ禍の中、やはり会員が一堂に会することは難しく、会計報告や役員選任の必要な審議は書面で行うなど、少し寂しい一年となってしまいました。

しかし、令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「2類相当」から「5類」に変更されたこともあってか、コロナ禍以前の社会を取り戻しつつあるように感じており、今年度は以前のように多くの参加者を迎えての総会及び懇親会を開催できるのではないかと考えています。

昨今は、市役所内でも個人情報取扱いについてはデリケートな問題になっており、新規メンバーの勧誘がなかなか難しい状況にあります。しかしながら、市役所という大所帯の中で、同窓の先輩後輩が一堂に会し話をする機会は貴重であるため、今後とも会員が楽しめるような様々な企画にチャレンジし、若手会員を増やすとともに、会を発展させるよう努めていきたいと考えています。

修道十日会
卒業六十五周年同期会

池本章 (高10回)

コロナ禍で毎年恒例の同期会を開催出来ず苦慮していましたが、やや下火になったので、四年ぶりに去る四月五日「半べえ」で四三名が集い(前回出席者は五七名)開催いたしました。重森三玲作の庭園で桜花のもと記念撮影後、二時より開会しました。黙祷の後(四年間で十名逝去)、世話人代表東水豊君の挨拶、遠来の岡本典久君の乾杯発声の後、歓談に入



卒業六十五周年同期会 集合写真

り、恒例の都山流大師範小滝凡人君の尺八演奏、大谷宏明君の参冊目の出版披露。遠来の同期七人、北海道から八島壯之君、関東から岡本典久君、山本修也君、関西から赤毛浩治君、平石達志君、田邊忠昭君、岡山から秋光純君のそれぞれの近況報告のスピーチがあり、二時間半はあっという間に経ち、大角正昭君の校歌斉唱、杉原久雄君の締めで、一年後に再会を約し和気あいあいのうちに散会いたしました。なおまた、開催にあたり修道後輩の「半べえ」金井正樹社長(高45回)には送迎・写真印刷・設営等何から何までお世話になりました。紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

書を学ぶ

黒田省司 (高15回)

今のカリキュラムのことはわからないが、私が高校に編入学した昭和35年頃は、芸術の授業があり、音楽、絵画、書道のうち一つを習うことになっていた。

単純に文字がうまく書けるようにと期待し、私は書道を選択した。先生は吉田芳香先生である。

授業では、書の基本はもちろん、書の歴史や、書家・王羲之、草書の書論「書譜」などの名前も教わった。

修道の生徒は、書道大会で優秀な成績を挙げている、と先生がよく自慢しておられた。わがクラスにもそんな実力者が何人もいた。こちとら書の実力はなく、練習するもなかなか上達しない。先生にしよっちゅう叱られていた。その頃の朱の手本が今も手元にある。書道具を忘れることがある。あの頃は皆実町に下宿し、自転車通学していたので、例えば昼休みに取りに帰ることもできたが、時間がない。そこで、道具を借りることになる。ところが、罰として掃除をさせられた。何度かこの罰を受けたことがある。

そうこうしているうちに、秋の文化祭が近づいてきた。我々書道クラスでは、文化祭に向けて各人が書の作品を書き上げるようになった。先生に書いていただいた条幅の手本を臨書するのである。私にはこれが難物で、自分で納得できるだけの作品がなかなか書けない。四苦八苦しながらもかく臨書を終えた。各自の作品について先生の講評が行われる。みんな立派な作品を書いており、さすがだ。羨ましいほどである。

さて、私の番になり、緊張してご沙汰を待った。しばらくして「君にしてはよくできている。よろしい」とおほめの言葉を賜った。うれしさこの上もない。何せほめられたのは初めてだったからである。作品は掛軸に表装され、文化祭の当日教室に掲示された。ほんとに誇らしく思えた。

長じて、筆をもつ機会もあり、美術展などでは、書作品が目いくようになった。また師匠の師匠とも言えるほどの書家の知遇を得て、書だけでなく、人生のことについていろいろ教わることもあった。

書を学び、書を通して多くのことを学んだように思う。

修道が男女共学に？

加藤 和行（高16回）

先般無事に喜寿を迎え、来し方を振り返った時、思い出したことが有り、三点ほど記述させて頂きます。

1993年（平成5年）、修道のPTA会長を仰せつかった年でした。

理事会の直前に当時の理事長さんから緊急会議とかで呼ばれ、校長先生、教頭先生と私に参加しました。その席で、将来の少子化を鑑みて、修道を男女共学にするよう理事会に諮りたい旨の提案が理事長さんからありました。



その場で了承されることと理事会に正式に議題として上げられかねません。他のメンバーは大学の学長、各

学部長の先生方、専務理事さんだったと記憶しています。

また、大きな案件だけにその場で決まらないうちでも、中高の承認の上での提案となるとかなり重大な問題です。

私は「男たちの修道」を守りたい一心で、大英帝国によるインドの植民地支配の例を引き合いに出して懸命に反対しました。結果、直後の理事会でその案は提出されずに事無きを得ました。

もう一点は、以前、修道の音楽の先生が声楽の清原皆人先生だったため、楽器はピアノ位しか無く、当時の先生はプラスチックの為に色々な学校に頭を下げて楽器を貸してもらっているという状態が続いており、何とかしてほしいという要望がPTAに来ていました。

偶々、修道短大OBでヤクルト広島販売（？）の某氏と知り合い、彼の協力を得て、それまで学園祭で飲み物をPTAから提供していたものを、売れた分だけを安く仕入れさせてもらい、販売は生徒さんたちの協力によるものとなりました。微炭酸飲料の出初め頃ではなかったかと記憶しています。これが大変好評で収益が上がり、以後毎年百万円を楽器の購入費の補助に充てるという議決を得ることができました。

後年の修道プラスチック部の活躍は素晴らしく、多くの受賞歴もあり、その発表会は感動モノです。

最後の一点は年に一度のPTA総会です。講師の先生にどなたを招聘するかと言う問題です。同期の上田宗岡君（上田宗箇流家元）の協力を得て、修道らしさとかいろいろ勘案して浅野の御当主長愛氏（現御当主長孝氏の父）を東京からお呼びしました。

広島藩の事とかのお話が聞けると思っていました。山科鳥類研究所のお話でした。以前他校で江戸時代の話をした時に、差別だとか何とか言われて、それ以来江戸時代の話はいないことにされたとか。大変意外で残念に思いました。しかし浅野様が望外に喜ばれ、他日、非公開の歴代浅野家の墓所を自らご案内してくださいました。

翌年は中村成朗会長の番でしたが、できる事なら平山郁夫先生をお呼びしたいと思い、ご自宅に電話しました。母校での講演依頼を大層喜ばれましたが、残念なことにならうと総会当日は文化庁の依頼での海外出張と重なり、実現しませんでした。

中学入学から

65年目のクラス会

菱川 方則（高16回）

令和5年3月18日に開催しました。

修道中学1年3組に入学以来、早や65年が経

過、当時の資料を見ると、担任の山崎広幸先生と55名の男子生徒、大変初々しい面々の入学式の写真です。又、夏期の倉橋島海越での臨海合宿もありました。

6年間の猛勉強(?)に耐え、

数年後はそれぞれの道に進み、今や殆どの者がリタイヤして年金生活を享受しています。

今回の「3組クラス会」には、県外からの出席者も多く、19名参加で市内国際ホテルにて開催。

体調不良や鬼籍に入られた方もあり、開催前に全員で黙とうをしました。

現役弁護士の中村君の開催挨拶で幕開け、各自が一人ずつ現在の生活なり、近況を述べました。

その前に司会の厚井範彦君から各自、「病気の話は長くなるから除外して!」の注文(笑)で各自ユニークな体験、自己紹介となりました。

特に加藤和行君の「修道の男子校から、男女共学校への移行問題、結局撤回され現状に至る」に花が咲き、爆笑。



クラス会での集合写真

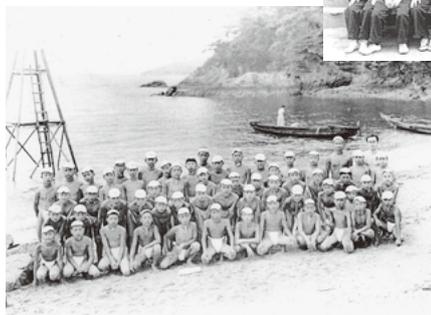
約2時間の懐かしい面々との楽しい会話の後、地下のサロンで二次会まで開催して旧交を温めました。

同窓会事務局から頂いた、学園資料を配布、拝見し、校舎、制服や6色の襟章の変化に時代の流れを感じるところがありました。

当日は、前回のクラス会から5年目の開催でしたが、皆さんの高齢化は否定できず、次回は出来れば80才の傘寿記念として開催、或いは5年後に開催してはどうかと協議、実現するかどうか不明ですが、希望的開催を予定。それぞれの出席者の健康と再会を祈念して閉会としました。



中学入学時1-3組



臨海学校(倉橋)

修橙会(修道高22回卒) 卒業50周年記念同期会

島村 誠(高22回)

「おう、久しぶりじゃのう、元気だったか?」

50年の時を超えて、マスク越しでもあつという間に高校時代に戻る笑顔。十有五にして学を志し、七十にして心の欲するままに生きよう。

1970年高校紛争で荒れ、全体でなくクラス単位で行われた高校22回生の卒業式。

40周年には十竹ホールで合同卒業式を実施、50周年は現役女性教師による補習授業など準備を進めていた。

しかし、2019年新型コロナウイルス感染発生に伴い、東京五輪同様2020年8月開催は延期、再度計画した21年10月も感染状況を鑑み延期とした。

そして、ようやく2022年8月28日ANAクラウンプラザホテル広島で開催することとなった。



会の様子

ワクチン接種4回して迎えた8月上旬、広島市内感染者は記録更新の急上昇中で、開催案内は苦渋の決断だった。

当初120名参加予定がやむをえず欠席者が続出した。それでも74名が「最後かもしれない」同期会に参加してくれた。

会場と感染予防対策をとり、とにかくリアルでみんなが安全に集まることを最優先して、12名の実行委員で共に話し合い、恩師や来賓もお願いせず、思い出の曲や同級生による高校時代のエピソードトーク、卒業時の名札や50周年記念Tシャツなど用意して、簡素で心温まる式次第と進行を音楽プロデューサーの松本憲治君が考えてくれた。顔と名前が一致してるかとはともかく顔を合わせ、仲間と共感する時間
ができた。

忙しい中駆けつけた齊藤鉄夫
国土交通大臣を
はじめ、命懸け
で東京や関西か
ら参加してくれ
た仲間たちと再
会を喜び、校歌
を歌い、中庸を
唱和し、歓談し
て、あつという
間の2時間を過



集合写真

ごし記念写真撮影をしてお開きとなった。オ
レンジのTシャツを着たまま肩を抱き合い満
足顔で同期が帰っていく。

22回卒は輝ける70代ゴールデンエイジの仲
間入り。これからも、元気にゴルフをしたり、
飲み食い語る時を共有し続けたい。

人間の発展に重要なのは、やはり密集と移
動そしてコミュニケーション！

協力して集まってくれた高校・同窓生に感
謝！！

修道学園6年間の思い出

上野 勝司 (高25回)

創始300年にあたり寄稿の依頼を受けた
時、礎になるような思い出が無いと思ってお断
りも考えたのですが、私の従兄弟5人が修道
学園でお世話になっていることも考慮してお
受けすることに致しました。

私は、1967年(昭和四十二年)四月に
修道中学に入学しました。

六月には中国が初の水爆実験をし、十月に
は吉田茂元首相が逝去された年です。地元で
は東洋工業(現マツダ)がロータリーエンジ
ン・コスモスポーツを発売していました。

私は、賀茂郡西条町(現東広島市)の兼業
農家の長男として生まれました。

近所の黒瀬川で川魚やザリガニを網で捕獲
したり、また農閑期には、田んぼで野球をし
て遊んでいました。当時のあだ名は「絶壁」。
後頭部にポリウムがなくて頭の形が将棋
の駒に似ていたからです。

小学校6年生になった時に、坊主になるこ
とが嫌だった私は、担任の先生に尋ねまし
た。長髪のまま中学校に行ける学校はありま
すか？

当時地元公立中学の男子は、坊主にする事
が絶対条件でした。

先生からは、広島県内で唯一長髪が許され
る中学は、修道中だと教えてくれました。一
応地元の塾に通いましたが、「自由自在」と
いう参考書をこなした程度で取り立てて中学
受験対策をやった記憶はありません。

私が受験したときは、約二千三百人の受験
生がいたと記憶しています。

入学後、同級生に聞いたところ田舎の小
校出身者は、学校で補習授業を受けて受験し
たとのことでした。

中学1年当時は、
西条駅から広島駅ま
で車で通学してい
ました。五月のある
日、窓を開けたまま
顔を出してトンネル
内に入ったら、煤で
顔が真っ黒になって



中3 修学旅行での集合写真

しまい、友達同士で大笑いしたことがあります。

入学後、お互いに自己紹介する機会があったのですが、僕は帰国子女ですと自己紹介した同級生がいました。帰国子女って何?と思いました。英語の授業でびっくりしました。担任の丸山健次先生の発音より英会話が滑らかで上手かったからです。小学校時代に比して賢い同級生が多いなど実感したのですが、何せ私の受験の動機は、坊主にならないことです(笑)

最低限の宿題はこなしてはいたものの、入学してほっとしてしまい予習、復習は殆どやらず仕舞いでした(笑)

1969年中学3年生の時に、Y君が漢文の望月寛先生と政治思想の違いで授業中に論争となり泡を吹いて気絶したのには驚きました。また、同時期左翼運動が華やかなりし頃で、校内に機動隊が入って来たことを覚えています。ロックアウトしていた高校の椅子、机を撤去していました。

1971年高校2年生の時に、国語の木元俊雄先生から私の作文を皆の前で情盛豊かで最優秀と褒めて貰ったことがあります。勉学で褒めて貰ったことがなかったので、私には文才があるのではと思ってしまいました(笑)

後年還暦を迎えた同期会で、木元先生にお目にかかった際にお礼を言うと当然覚えてはおられませんでしたが、わざわざ修道中学を

選んで入学してくれた生徒達には、有為なる人材になって欲しいと一生懸命指導しましたよと。その言葉を聞いて改めて頭が下がる思いがしました。当時は、語彙不足を痛感していたので、大学に入学したら4年間で500冊は読破するぞと自分の中で決めて、結果達成する事が出来ました。



喜劇芸術研究会
1971年 文化祭にて「乙女の祈り」を発表

高校2年から3年にかけては、仲間を集めて喜劇芸術研究会を発足しました。十月の学園祭では、講堂で「乙女の祈り」という演目で喜劇を公演しました。拙

い演技ではあっても、約千人の観客の前で笑いの反応があった時は、私の体の芯が震えているのが判りました。ホテルの支配人の役だったため、後日、先生や同級生からは何かと「支配人」とイジられました。私を見る目が明らかに変化していて悪い気はしませんでした。

思いのほか好評だったので、十二月には広島公会堂(平和記念公園内現国際会議場)で公演をして再び喝采を浴びました。

1972年高校3年の時は、夏休みも受験勉強そっちのけで(笑)脚本、舞台衣装、小道具を準備しました。五月には西条駅から広



1972年5月 JR西条駅出発広島駅経由、修道まで45km完歩



1972年5月 広島=西条間完歩
広島駅と校門での集合写真

島駅経由で修道学園までの四十五キロを同級生有志で夜通し歩きました。瀬野駅を過ぎた頃から皆無口になりましたが、凄く楽しかった記憶しかありません。土曜日だったので3時限の授業でしたが、先生も授業中爆睡している我々を怒ることもなく黙認してくれました。

また、高2、高3の担任だった英語の吉崎富士雄先生には大変お世話になりました。六月から長文読解対策として、個人的にテキストを用意してくださり六ヶ月間添削をして頂きました。私が六十年歳になった時に、カーブが大好きだった吉崎先生を日本ハム戦、マツダスタジアムに招待しました。

試合終了後、お礼だと言って食事会で簡単な英語の授業が



高2 修学旅行での吉崎先生との写真

始まった時は、苦笑しながらも、現役時代と変わらず優しく真面目な先生だと思いを新たにしました。残念ながら先生は、2021年十一月に亡くなれましたが、恩返しが出来たかなと思っています。亡くなられる前に一点確認したいことがあります。先生も修道学園のOBです。先生が中学3年の時の九州修学旅行は、広島女学院中学と一緒に専用列車で楽しかったと聞いておりました。翻って我々の時は、何故か女子中学と一緒に専用列車ではありませんでした(笑)

最後に、修道高校を卒業して早五十年が経過しようとしています。年齢から体調面で不安を感じるが増えましたが、幸いにも同級生の内、七十名が医師として活躍していますので、様々な専



2014年6月
吉崎先生との日本ハム交流試合観戦後の写真

門家にアドバイスして貰えることが頼もしい。修道学園に出会えて本当に感謝しています。



2016年6月
修道高校25回卒 還暦祝 同期会での集合写真

質実剛健とアウトドア

村瀬 功 (高51回)

質実剛健。飾りがなく真面目で、強くしっかりしていること。知徳併進と並ぶ修道学園のスローガンの一つです。

修道中学・高校6年間で質実剛健の思い出として印象に残っているのが、中学2年修学旅行の富士山登山です。

五合目から登り始め、途中の山小屋で1泊し、翌朝早くに出発して山頂まで辿り着きました。終始曇天で景色を楽しむことは叶いませんでしたが、長い道のりを地道に歩を進めて日本最高峰に立った経験や、山頂の食堂メニューでインスタントラーメンが1,000円もするという社会勉強などなど、新鮮な体験が思い出になっています。

また中高の修学旅行は、中学校1年時に島根県三瓶山で林間学校・登山(雨天で登山できず)、中学校3年時は長崎修学旅行でしたが、高校1年時に長野県白馬でスキー合宿。思い返すとアウトドアアクティビティ率が高かったです。修道の修学旅行は質実剛健を体現していたと感じます。

当時の私は、アウトドアよりも観光地を巡る方が好きで、修学旅行が登山やスキーになったことはどちらかというと残念に思っていました。そんな私も修道を卒業して25年を経て、今は豊かな自然の中のアウトドア体験に喜びを感じるようになりました。現在、



卒業時に恩師の皆さんから頂いた
寄せ書きは今も宝物

公認会計士と

してアウトド

アビネス中

小・企業の経

営・財務を支

援する仕事を

しています。

日本のアウト

ドアレジャー

を元気にした

いという思い

から、アウト

ドアビネスに

特化して支援

しています。自

然の中での体

験や体を動か

すスポーツに親

しんだ修道時

代の経験、そ

して質実剛健

の精神が、今

も自分の中に

刻まれている

のかもしれ

ません。



日本のアウトドアレジャーを元気にするべく日々奔走中

近年はデジタル社会が進み、またコロナ禍を経て人々の価値観や生活様式が大きく変動しています。そのような中で質実剛健の精神やアウトドアの経験は、激動の時代を生き抜くための大きな力になってくれることでしょう。

かけがえのない仲間

古島 永一（高65回）

65回卒の古島です。卒業から10年が経ち、

私もこのような機会を頂きました。

今まで寄稿された先輩方とは違い、勉強や部活で結果を残せなかった自分にとって、修道で得たものは、何だったのだろう。

中学受験で東部地区から入学した3人の内、私以外の2人は市内に引越し、通いは1人。尾道の1学年1クラスの小学校とは全く異なる修道での生活に不安はあったが、すぐに友達はできた。その中でも仲良くなったのが野球好きの面々。購買で売られているカラーバットで昼休みに野球をした。次第に人数が増え、放課後にキャッチボール、休日に千田公園で草野球を行うなど、草野球部の様相を呈していた。仲間との絆も深まり、何気ない日常だけでなく遠足やスキー合宿、修学旅行などの行事も楽しい思い出ばかりだ。

高3を迎える直前の春休み。受験が終わるまでは野球から離れるし、その区切りとして球場を借りて練習することに。いざ草津球場へ向かう。ノック、バッティング、ヘッドスライディング、泥まみれになりながらする野球。この時ばかりは勉強のことなんて忘れていた。途中から雨も降り、帰る頃には土砂降りだったが、心は晴々として自転車を漕いで帰った。

「また1年後に草津球場でやろう」

この言葉を合言葉にして乗り切った。

そして卒業式後の、2013年3月4日、再び草津球場に集まった。



2013年3月4日 草津球場にて

1年前とは違い晴天に恵まれた。努力は報われたのだ。仲間の顔を見て、声を出して共にやる久々の野球は、心の底から楽しかった。チーム分け、打順決め、ヒット、エラー、何をやっても皆が笑顔だった。この日は、私の人生に大切な1ページとなった。

なお当日集まった18人中11人が浪人するという結果となってしまったのは笑い話だ。何者でもない自分にとって、これだけは自信を持っている。

修道で得た仲間ほど大切なものはない。あれから10年、草野球をする機会はずっと減ってしまったが、ゴルフに形を変え今も当時の友人との交流は続いている。

異常も、日々続くと、正常になる。

コンテくん（本校OB）

漫画家のコンテくんと申します。簡単に自己紹介をしますと、普段は都内でCMプランナーをしており、2020年から



コンテくん アイコン

修道での男子校時代をゆるゆると描いたエッセイ漫画をSNSで投稿。それがバズって出版社の目に留まり、今年の3月に「男子校の生態」でKADOKAWAから単行本デビュー。そのことを修道の先生に報告すると、ノリよくSNSで宣伝してください、それがきっかけで中国新聞でもとりあげられ（校長先生も快くインタビュー受けてくださいました）、広島書店では平積み、面陳列と大きく売場が展開される…というなかなか出来ない体験が続いています。

漫画の中では、僕から見た修道での普通の日常がつづられています。「授業中にPerfumeを踊り出す子」や「中二病めいたこと」を言う先輩」「ラブホについて語ってくれる



広島市内大型書店での平積み。総合ランキング7位にもなり、地元の底力を感じました

先生」「休憩時間に裸でプールに飛び込む子」「話が短すぎる校長」「小さくて童顔の子が姫のように扱われる」といった修道ならではのエピソードの数々。この僕にとって『普通』である修道での日常が、SNSを通して『変わっている』と言われ始めた時、やつと母校の特有のノリに気付きました。「異常も、日々続くと、正常になる。」という広告業界では有名なキャッチコピーがありますが、まさにそれ。先生たちも「修道の常識は社会の非常識だ」と言っていたことも思い出しました。そして描いていくうちに僕も楽しくなつて、次々とその『異常』を漫画に描き上げていきました。

そのような内容を描いていた為、当初は「修道だとバレたら母校に怒られるかもしれない」とひるみ、フェイクとして制服のブレザーを学ランに変えたり、Google検索で「コンテくん」と調べると検索候補に「コンテくん 修道」と出始めてさらに焦ったり：怯える日々を過ごしていました。しかしいざ先生たちに報告するとみんなノリよく喜んでくださつて「こういう寛容さが修道だったな」と修道魂を信じきれていなかった自分にちよつと反省しました：笑。先生たちを筆頭に、SNSを通じて出会った現役生やOB、保護者たちみんなノリが良くて、改めてそんな修道が大好きだったことを思い出しました。そしてそれを誇りに思います。

記憶の中でずっと生きていた修道生たち

が、漫画の中でも生きていけるようにできる。素敵な仕事を見つけられたと思います。これからは彼らの素敵な『異常』を描いていきます。：：いい感じにまとめてみました。最後にひとつだけ。

僕の修道生活の中心は「スクールバンド班」でした。そこでの顧問の先生の教えでいまでもずっと残っているのが「それぞれがプロフェッショナルでいること」。

毎年7月に行われるサマーコンサートでは、顧問の先生は『先生』としてではなく『指揮者』としての活動だけに専念し、生徒は本番のギリギリまで演奏会の質を上げつづけ、OBは表舞台のステージには出ずに裏方に徹します。

この何事もプロフェッショナルでいる考えが、いまのCMプランナーの仕事や漫画活動に活かしている気がします。単純に漫画家になるだけだったら、吹奏楽部のような道は必要ないかもしれませんが。でも僕には必要な経験でした。本当に充実した修道での6年間は「スクールバンド班」のおかげです。この寄稿文を通じて、顧問の先生たちに感謝の気持ちをお伝えします。



スクールバンド班 サマーコンサート

修道学園同窓会連合会・修道学園（中・高）同窓会 事業報告並びに収支決算、収支予算

2022(令和4)年度 事業報告

2022年4月1日～2023年3月31日

1. 修道学園同窓会連合会

事 項	実施日	備 考
監査会	2022年5月18日(水)	修道中学校・修道高等学校
正副会長会議、幹事会・評議員会(6月)	2022年6月10日(金)	書面審議
正副会長会議、幹事会・評議員会(3月)	2023年3月9日(水)	ひろしま国際ホテル

2. 修道学園（中・高）同窓会

(1) 事業

事 項	実施日	備 考
正副会長会議、幹事会・評議員会(6月)	2022年6月10日(金)	書面審議
臨時正副会長会議	2022年8月24日(水)	修道中学校・修道高等学校
会報誌「修道」No.88発行	2022年9月1日(水)	
正副会長会議(9月)	2022年9月3日(水)	リーガロイヤルホテル広島
幹事会・評議員会(9月)	中止	
講演会(梶真貴先生)	中止	
修道学園(中・高)同窓大会	2022年9月3日(水)	リーガロイヤルホテル広島
第76回修道高等学校卒業式(同窓会入会式)	2023年3月4日(水)	修道中学校・修道高等学校
正副会長会議、幹事会・評議員会(3月)	2023年3月9日(水)	ひろしま国際ホテル

(2) 同窓大会・支部・職域総会

総 会 名	開催日	備 考
2022年度 修道学園(中・高)同窓大会	2022年9月3日(水)	リーガロイヤルホテル広島
関東支部のつどい	2022年7月11日(月)	東京ドームホテル
近畿支部総会	2022年12月4日(日)	ホテルグランソニア大阪
東部修道会総会	2022年11月5日(水)	福山ニューキャッスルホテル
江能修友会総会	中止	
九修会総会	2022年6月5日(日)	博多人仙閣本店
修道医会総会	2022年7月30日(土)	オンライン開催
広島市修道医会総会	2022年11月19日(土)	広島県歯科医師会館
広島市修道会総会	2022年8月	書面審議

(3) 活動支援

※高校75回生に卒業記念品を贈呈
※修道中学校・修道高等学校「運動班・文化班等」の活動支援(激励費支給)

事 項	実施日
第22回中国高等学校少林寺拳法大会 団体演武の部	2022年6月18日・19日
第46回全国高等学校総合文化祭「とよきよう総文2022」吹奏楽部門	2022年7月31日～8月1日
第46回全国高等学校総合文化祭「とよきよう総文2022」軽音楽部門	2022年8月2日～8月4日
第16回全国中学生少林寺拳法大会 男子単独演武の部	2022年8月11日～8月13日
第62回全国中学校水泳競技大会 競泳競技(200m平泳ぎ)	2022年8月18日～8月20日
第77回国民体育大会水泳競技大会(競泳)	2022年9月17日～9月19日
第13回全国高等学校選抜スノーシューライミング選手権大会	2022年12月24日・25日
第46回全日本フットサルコンテスト 中学校の部 打楽器8重奏	2023年3月19日
第13回JUSJF (Japan Students' Juggling Festival・日本高校生ジャuggling大会) 決勝 男子個人部門	2023年3月21日
第26回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 規定組演武の部・規定単独演武の部	2023年3月24日～3月26日

3. 広島修道大学同窓会

(1) 事業

事 項	実施日	備 考
アリアザットNo.50発行	2022年10月1日(水)	
第58回広島修道大学同窓大会～ラジオでリモート同窓会～	2022年11月6日(日)	RCCラジオ(中四国9局8局ライオンネット)SWEB配信
広島フライングエッセイコンテストへの参加	中止	

(2) 支部総会

総 会 名	開催日	備 考
九州修大会	中止	
中部修大会	2022年8月27日(土)	鶴ヶ別荘
宇部修大会(総会・懇親会)	2022年11月12日(土)	ANAクラウンプラザホテル宇部
岡山修大会	中止	
三次修大会	中止	
福山修大会	2022年9月3日(土)	福山ニューキャッスルホテル
関東修大会(三二総会)	2022年10月2日(日)	敏酔亭
周南修大会	中止	
岩国修大会	中止	
関西修大会	中止	
長崎修大会	中止	
北海道修大会	中止	
日本海修大会	中止	
香川修大会	中止	
鹿児島修大会	中止	
愛媛修大会	中止	

4. 広島修道大学院同窓会

(1) 事業

事 項	実施日	備 考
2022年度広島修道大学院同窓大会	不開催	

5. 鈴峯同窓会

(1) 事業

事 項	実施日	備 考
鈴峯同窓会総会	中止	

2022(令和4)年度 修道学園同窓会連合会 資金収支決算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

収入の部	科目	予算	決算	差異	摘要
収入の部	分担金	1,854,000	1,429,000	425,000	各同窓会より分担金1,000円×1,429名(中職273名、大学956名、大学院12名、給養190名)
	預金利息	30,000	25,508	4,492	国債利息、普通預金利息
	雑収入	1,000	0	1,000	
	小計	1,885,000	1,454,508	430,492	
	前年度繰越金	27,207,289	27,207,289	0	
	収入の部 合計	29,092,289	28,661,797	430,492	

(単位：円)

(注) 予備費500,000円の振替科目及び使用額は下記のとおりであり、予備費残高407,606円となる。
通信費：3,378円・諸費：89,016円 合計：92,394円

支出の部	科目	予算	決算	差異	摘要
支出の部	業務費	582,394	412,720	169,674	監査会経費・合同会議会場代(ほか)
	会議費	170,000	60,326	109,674	合同会議案内メール便代(ほか)
	通信費	123,378	123,378	0	同窓会議案内メール便代(ほか)
	慶弔費	180,000	120,000	60,000	同窓会会炊金・永年勤続表彰記念品料
	諸費	109,016	109,016	0	印刷代・タクシー代・案内用封筒代 残高証明書代・国債償還差損(ほか)
	予備費	(92,394)	407,606	407,606	
	小計	990,000	412,720	577,280	
	次年度繰越金	28,102,289	28,249,077	△146,788	
	支出の部 合計	29,092,289	28,661,797	430,492	

(単位：円)

貸借対照表 2023年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	科目	金額	負債・正味財産の部	科目	金額
資産の部	事業基金引当特定資産	8,496,333	負債・正味財産の部	事業基金引当金	8,496,333
	普通預金	3,517,928			
	国債	4,978,407			
	一般会計資産	28,249,077		剰余金	28,249,077
普通預金	13,249,077				
普通預金	0				
定期預金	15,000,000				
合計	36,745,410	合計	36,745,410		

2022(令和4)年度 修道学園(中・高)同窓会 資金収支決算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

収入の部	科目	予算	決算	差異	摘要
収入の部	入会金	852,000	819,000	33,000	@3,000円×273名(2022年度高3)
	終身会費	1,988,000	1,911,000	77,000	@7,000円×273名(2022年度高3)
	名簿売上代	27,500	71,500	△44,000	@5,500円×13冊
	預金利息	60,000	56,980	3,020	国債利息、定期預金利息、普通預金利息(広銀、広島信金)
	雑収入	10,000	53,000	△43,000	同窓大会新聞広告等延滞謝金 (コピー補の期2021年度開催無し)
	小計	2,937,500	2,911,480	26,020	
	前年度繰越金	39,075,429	39,075,429	0	
	収入の部 合計	42,012,929	41,986,909	26,020	

(単位：円)

(注) 予備費1,000,000円の振替科目及び使用額は下記のとおりであり、予備費残高922,225円となる。
慶弔費：40,000円・諸費：37,775円 合計：77,775円

支出の部	科目	予算	決算	差異	摘要
支出の部	事業費	2,740,000	2,276,455	463,545	全国大会出場選手等への激励費
	激励費	740,000	475,000	265,000	
	同窓大会補助金	200,000	200,000	0	
	卒業記念品料	600,000	556,455	43,545	卒業記念品
	その他の事業費	1,200,000	1,045,000	155,000	会報誌88号23,000部 (寄附用シート同封用含む)
	業務費	1,681,775	1,328,176	353,599	
	会議費	412,000	131,661	280,339	合同会議会場代(ほか)
	通信費	412,000	338,740	73,260	電話代・メール便代・宅急便代(ほか)
	慶弔費	220,000	220,000	0	支部助成金・広銀・広島残高証明書
	諸費	637,775	637,775	0	コピー代・国債償還差損(ほか)
その他の支出	284,000	273,000	11,000		
連合分担金	284,000	273,000	11,000	@1,000円×273名(2022年度高3)	
予備費	(77,775)	922,225	922,225		
小計	5,628,000	3,877,631	1,750,369		
次年度繰越金	36,384,929	38,109,278	△1,724,349		
支出の部 合計	42,012,929	41,986,909	26,020		

(単位：円)

貸借対照表 2023年3月31日現在

(単位：円)

資産の部	科目	金額	負債・正味財産の部	科目	金額
資産の部	事業基金引当特定資産	20,778,874	負債・正味財産の部	事業基金引当金	20,778,874
	普通預金	5,843,651			
	国債	14,935,223			
	一般会計資産	38,109,278		剰余金	38,109,278
普通預金	9,735,835				
普通預金	1,373,443				
定期預金	27,000,000				
合計	58,888,152	合計	58,888,152		

令和4年度 修道学園(中・高)同窓会 収支決算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

収入の部	科目	決算額	摘要
収入の部	補助金	200,000	修道学園(中・高)同窓会より
	広告収入	3,560,500	協賛広告、同期会
	会員券裏面広告協賛	0	印刷してないため、広告なし
	チケット	744,000	2022年度同窓大会 販売
	祝金	200,000	修道学園、修道中学高等学校、広島修道大学、広島修道大学同窓会、広島修道大学大学院同窓会他からの祝金
	預金利息	6	
	記念品売上	180,000	フック600円×300個販売
	収入の部 合計	4,884,506	

(単位：円)

(注) 2022年度を活用するため印刷なし

支出の部	科目	決算額	摘要
支出の部	大会チケット製費	0	2022年度を活用するため印刷なし
	大会誌作成費	1,210,000	
	大会運営費	2,307,350	
	会場費	2,147,360	
	料理・飲料(ウイスキー、樽酒)・室料	1,135,000	
	サービスマテリアル	113,500	
	音響・映像・設営	189,600	
	消費税	143,810	
	フリードリンクプラン(税込)	565,450	
	その他	159,990	エム・アイ・ピー 他
記念品関係支出	99,990		
給食メニュー	0	中止のためなし	
映像作成費	0	中止のためなし	
司会謝礼	60,000	本名正禮様	
その他謝礼金	0	中止のためなし	
広告宣伝費	174,062	広島朝日広告社様	
事務用品費	2,701		
交通費	24,660		
会議費	118,423		
郵送費	103,268		
グッズ販売余剰金	0		
雑費・手数料・通信費	42,200		
一般会計一部繰り入れ金	901,852	修道学園(中・高)同窓会	
支出の部 合計	4,884,506		

2023(令和5)年度 修道学園同窓会連合会 資金収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(収入の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
分担金	1,414,000	1,854,000	△440,000	各同窓会よりの分担金@1,000円×1,414名 (中高271名、大学992名、大学院5名、給養206名)
預金利息	100	30,000	△29,900	普通預金利息
雑収入	1,000	1,000	0	
小計	1,415,100	1,885,000	△469,900	
前年度繰越金	28,249,077	27,207,289	1,041,788	
収入の部 合計	29,664,177	29,092,289	571,888	

(単位：円)

(支出の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
業務費	545,000	490,000	55,000	
会議費	210,000	170,000	40,000	幹事会(6月・3月)・監査会 他
通信費	130,000	120,000	10,000	幹事会開催案内(ガキ代・メール便代 宅急便代 他)
慶弔費	180,000	180,000	0	各同窓大会祝金・永年勤続表彰 他
諸費	25,000	20,000	5,000	封筒代・印刷代・事務用品 他
予備費	500,000	500,000	0	
小計	1,045,000	990,000	55,000	
次年度繰越金	28,619,177	28,102,289	516,888	
支出の部 合計	29,664,177	29,092,289	571,888	

(単位：円)

(注)

- △は前年度予算に比べ、減少を示す。
- 昨今の物価高騰等を考慮し、必要な科目の予算額を増額しており、2022年度3月幹事会審議にて、承認済み。

2023(令和5)年度 修道学園(中・高)同窓会 資金収支予算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(収入の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
入会金	813,000	852,000	△39,000	@3,000円×271名 (2023年度高3)
終身会費	1,897,000	1,988,000	△91,000	@7,000円×271名 (2023年度高3)
名簿売上代	27,500	27,500	0	@5,500円×5冊
預金利息	6,000	60,000	△54,000	普通預金利息・定期預金利息 (広島銀行・広島信用金庫)
雑収入	10,000	10,000	0	同窓大会余剰金 他
小計	2,753,500	2,937,500	△184,000	
前年度繰越金	38,109,278	39,075,429	△966,151	
収入の部 合計	40,862,778	42,012,929	△1,150,151	

(単位：円)

(支出の部)

科目	予算	前年度予算	差異	摘要
事業費	3,340,000	2,740,000	600,000	
激励費	740,000	740,000	0	全国大会出場選手等への激励費
同窓大会補助金	800,000	200,000	600,000	(中・高) 同窓大会補助金
卒業記念品料	600,000	600,000	0	卒業記念品
その他の事業費	1,200,000	1,200,000	0	会報誌 (寄附リーフレット同封用の20,000部印刷含む)
業務費	1,790,000	1,604,000	186,000	
会議費	510,000	412,000	98,000	合同会議会場代 他
通信費	450,000	412,000	38,000	電話代・ガキ代・メール便代・宅急便代 他
慶弔費	180,000	180,000	0	同窓会支部総会祝金・永年勤続表彰 他
諸費	650,000	600,000	50,000	支那助成金・支那総会出席者旅費補助 封筒代・印刷代・事務用品 他
その他の支出	271,000	284,000	△13,000	
連合分担金	271,000	284,000	△13,000	@1,000円×271名 (2023年度高3)
予備費	500,000	1,000,000	△500,000	
小計	5,901,000	5,628,000	273,000	
次年度繰越金	34,961,778	36,384,929	△1,423,151	
支出の部 合計	40,862,778	42,012,929	△1,150,151	

(単位：円)

(注)

- △は前年度予算に比べ、減少を示す。
- 前年度予算は2022年度6月書面審議にて承認された修正予算です。
- 昨今の物価高騰等を考慮し、必要な科目の予算額を増額しており、2022年度3月幹事会審議にて、承認済み。

修道学園(中・高)同窓会 新役員

任期：2023(令和5)年4月1日～2026(令和8)年3月31日まで

名誉会長・会長・副会長

職名	名前	卒業回数
名誉会長	森本 弘道	高7
〃	大下 龍介	高7
〃	高木 一之	高10
会長	深山 英樹	高12
副会長	貫名 賢	高14
〃	伊藤 學人	高20
〃	廣谷 清	高28
〃	中村靖富満	高30
〃	嶋野 徳文	高33
〃	大方幸一郎	高38
〃	田戸 亨	高40
〃	貞徳 伸治	高42
〃	緒方 直之	高44
〃	三宅 泰雄	高48
計		14名

名前	卒業回数	正副
森本 昭男	高1	正副
下村 幸男	高2	正
河野富士雄	高4	正
佐伯 正司	高5	正
嶋野 俊雄	高6	正
本西 文雄	高6	副
大下 龍介	高7	正
森本 弘道	高7	副
山下 泉	高7	副
大塚淳一郎	高8	正
叶原 一然	高8	副
折出 郁三	高9	副
横田 守	高9	正
池本 尊	高10	副
高木 一之	高10	正
岡野紀代司	高11	副
久保田豊之	高11	正
土井 洋二	高12	正
深山 英樹	高12	副
猫本 幸雄	高13	副
山根 恒弘	高13	正
大岡 征武	高14	副
貫名 賢	高14	正

名前	卒業回数	正副
静川 周	高15	正
貫名 徹	高15	副
加藤 和行	高16	副
万代 峻	高16	正
今井 誠則	高17	正
森本 訓	高17	副
笹野 正明	高18	正
三村 邦雄	高18	副
竹島 哲郎	高19	副
山本 一	高19	正
伊藤 學人	高20	正
二森 寛	高21	副
藤居 道正	高21	正
河口龍太郎	高22	副
辻井 正典	高22	正
佃 政治	高23	副
中本 高明	高23	正
下田 保清	高24	副
船倉 智雄	高24	正
佐伯 正道	高25	正
佃 良和	高25	副
土屋 博行	高26	副
森上 忠信	高26	正
富田 恵治	高27	副
福原 俊二	高27	正
沖野 恒巳	高28	副
廣谷 清	高28	正
三浦 靖彦	高29	副
和田 章宏	高29	正
中村靖富満	高30	正
松井 直也	高30	副
本藤 修	高30	副
久保田豊一郎	高31	副
豊田 章宏	高31	正
新藤幸次郎	高32	正
諏訪 昭浩	高32	副
嶋野 徳文	高33	副
佐々木 明	高33	正
川崎 博行	高34	正
湯崎 俊彦	高34	副
井上 徹	高35	正
友廣 和照	高35	副

名前	卒業回数	正副
大内 茂絵	高36	正
海生 知亮	高36	副
久保 康治	高37	正
下川 純二	高37	副
大方幸一郎	高38	正
筒井 直樹	高38	副
北村 直幸	高39	正
栗田 英樹	高39	副
田戸 亨	高40	正
藤野 亮	高40	副
岩田 明之	高41	副
西田 天次	高41	正
貞徳 伸治	高42	副
佐野 智	高42	正
下郷 莊平	高42	副
旦 壮之助	高43	副
西尾 尚士	高43	正
浅川 智洋	高44	副
緒方 直之	高44	正
田中健太郎	高45	正
伊藤 智宏	高46	副
谷口 佳陽	高46	正
上垣内裕輔	高47	正
野口 隆志	高47	副
高本 和也	高48	副
三宅 泰雄	高48	正
河野 修蔵	高49	副
望本 英伸	高49	正
小川 文象	高50	正
山村 和人	高50	副
名和原 寛	高51	副
森野 貴雅	高51	正
田村 勇太	高52	正
安本 芳朋	高52	副
赤羽隆太郎	高53	副
大辻 健介	高53	正
内藤 貴明	高54	正
浜中 孝喜	高54	副
猪花 祥雄	高55	副
越智 基匡	高55	正
池田晃太郎	高56	副
佐々木 雄	高56	正

名前	卒業回数	正副
石徳 優季	高57	副
杉田 卓也	高57	正
金谷 将明	高58	正
速見 大輝	高58	副
昌子 佳晃	高59	正
長谷川貴大	高59	副
中川 晃	高60	副
三浦 基嗣	高60	正
金子 大倫	高61	副
宮地 翔矢	高61	正
小羽田浩志	高62	副
八井 宏陽	高62	正
門田 拓海	高63	副
田村 應崇	高63	正
水口 雄矢	高64	副
渡辺 琢水	高64	正
計		123名

職名	名前	卒業回数
監査		
職名	蔵田 修	高30
監査	小早川幸三	高33
〃	中島 弘規	高33
計		3名

会誌名簿委員		
職名	名前	卒業回数
委員長	田戸 亨	高40
副委員長	三宅 泰雄	高48
委員	川崎 博行	高34
〃	筒井 直樹	高38
〃	西村 昌浩	高39
〃	濱田 茂	高49
〃	越智 基匡	高55
〃	中川 晃	高60
担当副会長	大方幸一郎	高38
顧問	中村靖富満	高30
計		10名

Yショップ shūDO 店オープン・新敬道館完成

『修道学園創設300周年事業 修道中学校 修道高等学校本館建替等工事ご支援のお願い』等、本校資料をご覧になられた方には重複する部分があるかと存じますが、『修道中学校・修道高等学校本館建替その他工事』の起工式が令和4年5月2日に行われ、完成は令和7年8月末を予定し、工事は滞りなく進行しております。

第1弾として、令和4年8月31日、『Yショップ shūDO店 供用開始式』が行われました。修道中学校・修道高等学校南館1階(校内)にオープンし、コンビニではパン類、文房具をはじめ多種多様なものを扱っております。

第2弾として、令和5年7月5日、『新敬道館 供用開始式』が行われました。新しい敬道館には、剣道場・柔道場・弓道場・少林寺拳法練習スペース・スカッシュコート・クライミングウォール(ボルダリング)等、様々な設備がございます。

今年12月には新本館・新図書館が完成予定となっております。そのため、本冊子の表紙にもなっております現在の本館は、残念ながら新本館完成後に取り壊しいたします。跡地には既存の北館校舎の増築と修道広場の整備が予定されています。

2025年の修道学園創設300周年に向け、引き続き工事等により、OBの皆様には何かとご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願いいたします。



Yショップ shūDO店



柔道場



スカッシュコート



クライミングウォール(ボルダリング用)



新本館・新図書館パース図



修道広場パース図

修道学園創設 300周年記念事業ホームページのご紹介

『修道学園創設300周年事業 修道中学校 修道高等学校本館建替等工事 ご支援のお願い』に関しまして、多大なるご寄附を賜り、誠にありがとうございます。

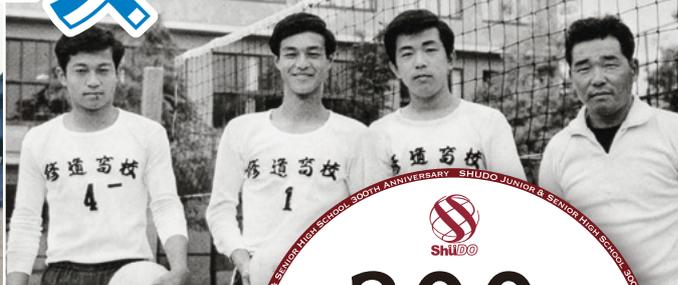
さて、本事業は同窓会ホームページとは別に、専用のホームページを公開しております。専用ホームページには、“寄附状況(毎月更新)”、“工事進捗REPORT”等を掲載しております。

是非ご覧ください。引き続き、よろしく願いいたします。

300周年記念事業ホームページ：<https://gakugai.shudo-h.ed.jp/300th-donation/>



同窓会ニュース



新本館建設（ご寄附のお願い）

修道の校名は、広島藩12代藩主浅野長勲公が『中庸』の一節「道を修むるこれを教えという」から名付けられたものですが、その源は1725年、浅野吉長が白島の稽古屋敷に講学所を創立されたときに遡り、この長い歴史の中で、「知徳併進」の方針を掲げ「有為な人材の育成」を目指した修道教育が連綿と受け継がれて参りました。さらに、この建学の精神のもとに輩出された幾多の人材が、我が国の政治・経済・文化等幅広い分野にわたって活躍していることは、周知の事実であります。

さて、修道学園は2025（令和7）年に創立300周年を迎えます。これを記念するとともに、新しい時代の要請に応えた教育の質的向上・環境整備を図るため、老朽化の著しい本館の新築を中心とした建設計画が進められております。

長い歴史を誇る母校修道が今後も末永く繁栄し続けるため、また、誇るべき建学の精神を未来へと伝えるため、我々同窓生としても建設事業にできるだけのお手伝いをしようと考え、その切なる思いを形として表す意味で資金的な協力をお願いしたいと思います。

寄附募集のリーフレットは、写真等を差し替えて毎年作成し、ご寄附の有無に関わらず、同窓生の皆様に年1回送らせていただいております。昨今の厳しい経済事情の折り誠に恐縮に存じますが、同窓生の皆様には何とぞ趣旨にご賛同を賜り、格別のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

修道学園（中・高）同窓会

三宅	緒方	貞徳	田戸	大方	鶴野	中村	廣谷	伊藤	貫名	副会長	深山	会長
泰雄	直之	伸治	幸一	徳文	富満	清	學人	賢	賢		英樹	

詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。
<https://dosokai.shudo-h.ed.jp/>



事務局だより

昭和33年3月卒（10回卒）以前の写真を求めています。

① 卒業アルバム

2025年に創立300周年を迎えるに当たり、修道中学校・修道高等学校では、その記録を長く後生に伝えんがため、現在、所蔵資料の整理確認と、紙資料のデジタルデータ化事業を進めております。

本校に残ります写真のデータ化を中心に作業を急いでおりますが、残念なことに、昭和33年3月卒業（高校10回）以前の卒業アルバムが残されておられません。

つきましては、高校10回卒以前の卒業アルバムを一時本校に預けてもよいとおっしゃる方を探しております。お預かりしたアルバムは大切に保管し、デジタルデータ化後（約1年ほど時間をいただくこととなります。）にご返却いたします。お志のある方がいらっしゃいましたら、下記「修道学園（中・高）同窓会事務局」までご連絡ください。

② その他写真

卒業アルバムに限らず、修道中学校・修道高等学校に関わる古い写真を求めています。お送りいただいた写真は、デジタルデータ化し、インターネット上で皆様にご覧いただけるようアーカイブ化していく予定です。

【ご注意】

1. お送りいただいた写真はご返却できません。デジタルデータ化の後、本校にて丁重に保管させていただきますので、ご了解いただける場合のみご送付ください。
2. デジタルデータは、修道中学校・修道高等学校の歴史を広くご覧いただく目的で将来公開していく予定です。公開にご了解いただける場合のみご送付ください。
3. できましたら、写真の説明（撮影年代、状況の説明など）を同封いただけると助かります。

何とぞ趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

住所変更手続きのお願い

会員の方で住所・電話番号・勤務先・メールアドレス等変更になった方は、変更手続きをお願いします。

変更手続きは、修道学園（中・高）同窓会のホームページに掲載されております。同窓会事務局宛のメールアドレス宛に変更をご連絡いただくか、または同窓会名簿内の添付はがきで、同窓会事務局までご連絡ください。電話・FAXでも結構です。ご協力をお願いいたします。

会員名簿第38号の発行について

現在、名簿委員会（委員長 田戸 亨）において、「会員名簿第38号」を発行する準備を進めております。発行は2025年3月の予定です。創立300周年記念号とし、ハードカバー付きで作成の予定です。前37号は、2020年3月に発行しました。今回も名簿発行業務は、(株)サラトに委託します。2024年6月頃には調査ハガキを会員全員に発送する予定です。より良い名簿作りに向けて努力いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

ご 注 意

本同窓会の名をかたって名簿を販売するケースが頻繁に起こっています。不審なハガキや電話等にはお答えにならないようお願いします。同窓会が名簿を発行する場合は、必ず同窓会長名で調査を行います。

修道学園（中・高）同窓会事務局

〒730-0055 広島市中区南千田西町8番1号
TEL (082) 241-6686 FAX (082) 249-0870
E-mail : dosokai@shudo-h.ed.jp

